

## 硫黄鳥島の火山活動解説資料（令和7年7月）

気象庁地震火山部  
火山監視・警報センター  
沖縄气象台地震火山課

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。  
噴火予報（活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

### ○ 活動概況（図2、図3）

8日に気象庁の海洋気象観測船「啓風丸」が実施した海上からの観測では、硫黄岳火口で引き続き白色の噴気を確認し、風下側では火山ガスの臭気が感じられました。グスク火山火口周辺では、噴気は認められませんでした。また、硫黄岳火口及びグスク火山火口周辺の海域では、変色水域は認められませんでした。



図1 硫黄鳥島 硫黄岳火口及びグスク火山火口の位置と図2及び図3の撮影方向

この火山活動解説資料は気象庁ホームページでも閲覧することができます。

[https://www.data.jma.go.jp/vois/data/report/monthly\\_v-act\\_doc/monthly\\_vact.php](https://www.data.jma.go.jp/vois/data/report/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php)

資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/know/kazan/kazanyougo/mokuji.html>

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『電子地形図（タイル）』を使用しています。



図2 硫黄島 硫黄岳火口周辺の状況（8日）

- ・気象庁の海洋気象観測船「啓風丸」による観測では、前回（2024年10月）の観測に引き続き硫黄岳火口で白色の噴気が認められました。また、周辺海域では変色水域は認められませんでした。



図3 硫黄島 グスク火山火口の状況（8日）

- ・グスク火山火口周辺で噴気は認められませんでした。また、周辺海域では変色水域は認められませんでした。